

特集(1) テクノフォーラム2012開催レポート

熱気あふれるプレゼンテーション。
全22編の技術論文を発表。

2012年7月12～13日の2日間、
埼玉県鴻巣市の技術研究所・大会議室において、
「テクノフォーラム2012」が開催されました。
9回目を迎えた今回は、全22編がエントリーされ、
熱気あふれるプレゼンテーションが展開されました。



開会式での小林社長のあいさつ

テクノフォーラムとは

大成ロテックでは、建設生産活動・技術活動の成果発表や
討論を通じて、自社保有する技術情報の共有化、技術の水平
展開、技術系社員のプレゼンテーション能力やコミュニケー
ション能力の向上などを目的に、技術論文の発表会「テクノ
フォーラム」を開催しています。大成ロテックが業界に先駆けこ
のような試みをスタートさせたのは1992年。以降、ほぼ1年お

きに開催され、20年目の今回は9回目の開催です。
また、当社のテクノフォーラムは、CPDS(Continuing
Professional Development System:継続的専門能力啓
発システム)の社内研修会として、(社)全国土木施工管理技
士会連合会の承認を受けています。

テクノフォーラム2012

今回開催されたテクノフォーラム2012は、7月12日、開会
式および委員長である瀬川本部長のあいさつ、主催者である
小林社長のあいさつに続き、2日間にわたって22編の論文が
発表されました。

プレゼンテーションは、PowerPointを使用。それぞれ通常
の業務で忙しい中、写真やイラスト、図版類を多用し、中には
動画を使用した力作もあり、発表者の熱意がうかがわれまし
た。また、持ち時間15分と短い中、プレゼンテーションの後は、
活発な質疑応答が交わられていました。

今回は、自社開発技術が9編、当社として実績のあるコンク
リート舗装技術関連が6編と、当社としての独自性や強みをア
ピールした発表が多かったのが大きな特長といえるでしょう。



熱気あふれる発表会場

審査結果

7月13日の午前中ですべての発表が完了し、昼食を挟ん
で、午後から審査結果発表と表彰式が行われました。当初のス
ケジュールでは、表彰式は13時の予定でしたが、実際は15分
遅れ。ここからも、秀作ばかりで審査が難航した様子がうかが
えます。審査基準は、技術の内容ばかりでなく、作成した論文

や資料のわかりやすさや、発表者のプレゼンテーション能力、
質疑応答の際のコミュニケーション能力を重視すること。そ
して、厳正な審査を経て、見事、関西支社の十文字学氏が優
秀賞を受賞。同氏には、表彰状と賞金が授与されました。また、
佳作として5編が選定され、盛況のうちに閉会となりました。

テクノフォーラム2012 受賞者一覧 ○:発表者

<優秀賞>

- ・16) 既設コンクリート舗装版の補強工法
「フラットバーステッチ工法」の適用事例
関西支社:○十文字 学/岡 聡毅

<佳作> 発表順

- ・07) 積雪寒冷地における凍結抑制舗装の施工例
関西支社:○梶原 治/岡元 壮一
- ・10) 成田空港A滑走路でのコンポジット舗装の施工例
東関東支社:○木原 宏/堀内 潤/種村 要佑
本社:中塚 将志
- ・15) 無散水融雪装置保護層へのSFRCの適用例
関西支社:○北村 天彦/牟禮 俊博/原田 博/青木 正広
- ・19) 新しい土系舗装「エクセレントソイル」の施工
中部支社:○米林 博己/福里 次康/池田 康太郎
- ・21) トンネル内のSF工法による連続鉄筋コンクリート舗装*
東北支社:○大川 英樹/児玉 進一/渡部 和也/菊地 晃吾
*国土交通省・東北地方整備局局長賞受賞技術



優秀賞受賞の十文字氏のプレゼンテーション

優秀賞受賞者コメント

関西支社:十文字 学氏



無欲の勝利です。

今回、発表させていただいたのは、既設コンクリート舗装
版の補修工法として当社が特許を持つ「フラットバース
テッチ工法」の名神高速道路集中工事への適用事例です。
同工法は、同様のコンクリート舗装版の補修工法「バース
テッチ工法」と比較して、作業効率が高いのが特長です。
しかし、開発から20年近く経過し、一見地味な技術に思わ
れがちなため、正直言って、ほとんど自信はありませんで
した。事業所のスタッフも誰も期待していなかったと思
いますよ。だからプレゼンの練習も1回だけで、本番もあまり
緊張しなかったのが良かったのかもしれません。まさに無
欲の勝利ですね(笑)。全く期待はしていなかったものの、
協力してくれた事業所スタッフ全員に受賞の喜びを伝え
たいですね。そして、いただいた賞金で祝賀会でも開催し
たいと思っています。



表彰式を終えて [左から瀬川本部長、米林氏(佳作)、大川氏(佳作)、
木原氏(佳作)、十文字氏(優秀賞)、梶原氏(佳作)、中村常務、北村氏(佳作)]

Column

■新技術開発で業界をリード。

大成ロテックでは、技術研究所を中心に舗装材料から機
器、工法など、道路土木工事に関する新技術の研究・開発
に積極的に取り組み、既に特許件数においては、業界2位
の実績を誇っています。

また、国土交通省が主導する公共工事に関する技術
データベース[NETIS(New Technology Information
System:新技術情報提供システム)]への登録数も業界2位
であり、このうち3件は有用技術として認定されています。

今後も私たちは、工事の安全性の向上、効率化、低コスト
化などを実現する優れた技術開発を通じて、広く社会に貢
献し続けます。